

平成 27 年度窯業同窓会総会議事録

I. 期日 平成 27 年 5 月 23 日(日) 15:00~16:30

II. 場所 東京工業大学 大岡山西 8 号館 W833 講義室

III. 参加者 約 40 名

IV. 内容

今年は、佐々木先生の講演会を開催し、約 40 人の参加を得た。総会・交流会は昨年同様、大学のホームカミングデーにあわせて開催され、懇親会は全体交流会会場で行われた。

1. 開会挨拶

後藤幹事の開会挨拶及び司会で進められた。

2. 金古会長挨拶

同窓会の使命として、1. 会員の親睦（総会・交流会（懇親会）、見学会）、2. 学生・学科の支援（見学会、企業セミナー、学科説明会補助、謝恩送別会補助参加）、さらに、卒論発表会へ参加があり、最優秀学士論文賞の選考に参加した。

支部活動の支援、並びに、同窓意識の涵養と広報活動の活発化を目指し、HP の活用、アドレスの活用、電子名簿の構築と名簿冊子の発行（H26.12）を行った。付随して、名簿台帳管理の徹底を努力した。

また、2016 年度予定されている大学の改革に伴い、学科との関係について、今後同窓会として議論が必要になろう。

3. 定例行事

3.1. 物故者哀悼

本会総会までにお亡くなりになられた 14 名の方々の紹介があり、冥福をお祈りし、黙禱を奉げた。14 名の方々は以下の通り。

卒年	氏名	ご逝去日	卒年	氏名	ご逝去日
1941	高田 利彦	H27.01	1943	奥田 進	H27.03
1945	今間 朋春	H26.10	1946	加藤 守光	H26.08
1946	延 義之	(数年前)	1947	古賀 義根	H26.10
1948	斎藤 勝一	H07.04	1948	岩瀬 滋	H25.09
1948	日下部中治	H26.10	1949	五十嵐才吉	H26.04
1953	柳 正光	H26.08	1959	清水 廣	H26.05
1961	高宮 陽一	H26.01	1966	相沢 熙矩	H26.05

3.2. 各賞受賞者紹介

細野秀雄教授

恩賜賞・日本学士院賞を受賞（2015年03月18日）

JST 知的財産特別貢献賞（第 2 回）（2015年03月18日）

米国物理学会 2015 James C. McGroddy Prize for New Materials 受賞（2014年11月05日）

トムソン・ロイター Highly Cited Researchers に選出（2014年10月10日）

神谷 利夫教授

米国ディスプレイ学会 2015 SID Special Recognition Awards を受賞（2015年05月01日）

伊藤 満教授

「科学技術分野の文部科学大臣表彰」を受賞（2015年04月20日）

鯉沼秀臣前応用セラミックス研究所長

第 14 回応用物理学会業績賞（研究業績）受賞（2014年03月26日）

吉本 護

2013 年度 日本セラミックス協会 優秀総説論文賞 受賞（）

福原実 岡山理科大学教授

第 69 回（平成 26 年度）日本セラミックス協会 功労賞「伝統的セラミックス“備前焼”の材料科学的研究」

安井伸太郎 東京工業大学助教

第 69 回 (平成 26 年度) 日本セラミックス協会 進歩賞「ペロブスカイト型酸化物強誘電体薄膜における巨大圧電性の設計」

坂井悦郎 東京工業大学教授、細川佳史 太平洋セメント株式会社、他 2 名

第 42 回セメント協会論文賞、「熱力学的相平衡物質移動モデルを用いたスラグ系セメントの硫酸塩膨張メカニズムに関する検討」

保科拓也 東京工業大学助教

第 30 回強誘電体応用会議 優秀発表賞、「Ba_{0.92}Ca_{0.08}TiO₃ セラミックスの誘電特性におけるサイズ硬化と分極メカニズム」

K.Pruethiarenun (東京工業大学 留学生)

手島記念研究賞 留学生研究賞、「Comparative study of photoinduced wettability conversion between [PW₁₂O₄₀]³⁻/brookite and [SiW₁₂O₄₀]⁴⁻/brookite hybrid films」

並木 宏允 東京工業大学学生、日本化学会第 94 春季年会 学生講演賞

保立萌衣 東京工業大学学生、セラ協第 27 回秋季シンポジウム、最優秀ポスター賞

山本隆大 東京工業大学学生、セラ協第 27 回秋季シンポジウム、最優秀ポスター賞

松戸 亮 東京工業大学学生、セラ協第 27 回秋季シンポジウム、奨励賞

渡邊 哲朗 東京工業大学学生、セラ協第 27 回秋季シンポジウム、優秀賞

村井亮太 東京工業大学学生、セラ協第 27 回秋季シンポジウム、優秀発表賞

秋山周祐 東京工業大学学生、セラ協生体関連セラミックス討論会、優秀賞

廣澤聡太 東京工業大学学生、セラ協生体関連セラミックス討論会、優秀賞

金原一樹 東京工業大学学生、セラ協第 34 回エレクトロセラミックス研究討論会、最優秀賞

保立萌衣 東京工業大学学生、セラ協第 34 回エレクトロセラミックス研究討論会、優秀賞

山本隆大 東京工業大学学生、セラ協第 34 回エレクトロセラミックス研究討論会、優秀賞

金原一樹 東京工業大学学生、H26 年度日本電子材料技術協会第 51 回秋期大会、優秀賞

金原一樹 東京工業大学学生、H26 年度日本電子材料技術協会第 51 回秋期大会、講演奨励賞

松澤一輝 東京工業大学学生、第 68 回セメント技術大会優秀講演者、優秀講演者

龍野俊直 東京工業大学学生、The 8th International Conference on the Science and Technology for Advanced Ceramics、Silver poster award

K.Pruethiarenun 東京工業大学留学生、The Workshop on Education and Research Center for Materials Innovation、Best poster award

片柳 雄大 東京工業大学学生、IUMRS-ICEM 2014 台湾、Best poster award

加納 学 東京工業大学学生、STAC-8、Poster Award

畠山泰典 東京工業大学学生、新学術領域研究「ナノ構造情報のフロンティア開拓—材料科学の新展開」第 2 回若手の会、増本賞 (ポスター賞) 銅賞

片柳 雄大 東京工業大学学生、6th PCGMR-NCKU Symposium、Best Poster Award

牧之瀬 佑旗 東京工業大学学生、The IUMRS International Conference in Asia 2014. Award for Encouragement of Research

3.3 セラミックス研究奨励賞を授与

優秀学士論文賞 石川諒馬君 (鶴見研) 「SrTiO₃ 系ナノ粒子を用いた新規粒界絶縁コンデンサの開発」

3.4. 卒業 50 周年記念者 記念品贈呈

卒業 50 周年 (昭和 40 年卒業)をお祝いし、記念品として益子焼窯元村田浩氏の作品「糖白釉山帰来文花入」を金古会長 (井関副会長) より出席された 5 名に贈呈された。

出席者: 河田幸司様、木村多喜男様、菊池光治様、吉谷川貢様、金古次雄様

欠席者: 吉村昌弘様

このほか連絡の取れない方: 6 名がいらっしゃいます。

なお、平成 23 年より、直近 5 年以上の会費納入を記念品贈呈の条件にしています。

4. 最近の学内の動き

4.1. 大岡山 1(無機材料工学科)

無機材料工学科の鶴見敬章教授より紹介された。まず、同窓会のさまざまな学科への支援に対

し、お礼を述べられた後、16年に予定されている大学改革について話があった。詳細については未定のところがあるが、学部(理学部、工学部、生命理工学部)が廃止され、6学院・19系に再編される。無機材料学科は、物質理工学院に編成され、物質理工学院は、応用化学系と、金属・有機・無機材料並びに応セラ研からなる材料系の2系より編成される。この改革は、世界のトップ10の大学を目指し、学修・修博の一貫教育を目指し、教育・研究の組織改革を行うとしている。同窓会との関連としては、従来の“窯業”関係以外からの参加も考えられるので、同窓会の名称の変更も考慮いただきたい。

人事異動では、田中順三教授の定年退職、瀬川連携教授の着任、新助教(坂井・宮内研)の島根大学准教授転出が紹介された。

学生の就職状況：同窓会の支援も有り、現在は100%の状況である。学部から院への進学は100%で、現学生の構成は、B2(32), B3(39), (B4(42), M1(23), M2(24), M 留学生(5)、D(14、社会人7、留学生3)、という状況である。

4.2. 大岡山 2(原子炉工学研究所)

研究所長矢野豊彦教授より紹介された。

昨年、附置研昇格以来50周年にあたり、盛大に記念講演会が催された。

現在、教員35名であるが、無機系は矢野教授、吉田助教に加え、金属系から、小林能直教授が参入された。

研究では、原子力安全研究、革新的原子力システム研究、アクチノイドマネジメント研究、放射線医療応用研究を中心に、特に安全教育、廃炉技術教育等原子力教育で評価を受けている。

16年に予定されている大学改革では、学部組織・教育改革とともに、研究所の改革も予定されており、その方向性が明らかでなく、学生の配置としては、機械系、電気電子系、材料系、応用化学系、融合理工学系等多数の系に配置されることが予想され、鋭意検討と交渉を行っているところである。

4.3. 応用セラミックス研究所

若井教授より現状が紹介された。

連携施設ではあるが、元素戦略センター(センター長 細野教授)が建設された。11人の教授8名の准教授建築系5名から構成されており、学生は、学部生4名、修士112名、博士36名、研究生2名、ポスドク15名である。

人事では、セキュアマテリアル研究センターの時限が迫り、次期戦略として、計算科学を考慮し、大場教授(第一原理計算部門)の着任を願った。そのほか、赤津教授の佐賀大学教授への転出、中島教授の北海道大学教授への転出、松下伸広准教授(理工学研究科より)の着任が紹介された。

応セラ研は、全国共同利用研究拠点でもあり、年間100件程度の共同研究がなされている。建物(居室・実験室)は、R3, J2, J1, S2, G5等と分散している。

5. 平成26年度事業報告ならびに決算報告

5.1. 平成26年度事業報告：安田副会長より、以下の通り報告された。

- ・H25年度総会 5/25、南8号館201号室
- ・見学会 9/30(火) (参加者41名、学生25名、教職員2名、OB他14名)
花王(株)東京工場、キリンビール(株)横浜工場、(株)IHI 横浜工場
- ・第1回企業セミナー 説明会・懇親会 3/9(月)
旭化成株式会社、太平洋セメント株式会社、富士フィルム株式会社、日本板硝子株式会社、日本ガイシ株式会社、特許庁
- ・第2回企業セミナー 説明会・懇親会 3/10(火)
新日鉄住金株式会社、本田技研工業株式会社、三菱重工業株式会社、TOTO株式会社、株式会社日立製作所、宇部興産株式会社
- ・無機材料工学科卒業論文発表会・謝恩会送別会協賛 3/2(月)
- ・印刷物として最後の名簿を2014年発行した。
- ・ウェブによる名簿の活用・管理：広報担当
- ・幹事会(5/15、6/26、9/5、11/6、1/21、3/17)、6回開催

5.2. 平成 26 年度会計報告

決算概略表は以下の通り、原副会長より報告された。

平成26年度決算 概要

【単位 円】

項目	25年度	26予算	26決算	26年決算の注
収入	1,634,700	1,640,000	1,631,261	収入
年会費・寄付金	1,414,500	1,400,000	1,399,500	①年会費・寄付金は、324名の方のご協力をいただいた
企業セミナー賛助金他	220,200	240,000	231,761	①企業セミナー賛助金として、220千円のご協力をいただいた
前年度繰越金	5,758,408	5,964,271	5,964,271	
合計	7,393,108	7,604,271	7,595,532	
支出	1,428,837	2,550,000	2,535,716	支出
総会関係費	624,628	650,000	690,229	①学科関連支援費263千円は、学科説明会補助、企業セミナー、謝恩会など、
名簿関係費	25,767	1,000,000	755,941	②名簿関係 WEB化370千円 冊子発行386千円
本部関係費	473,446	600,000	962,695	
支部関係費	304,996	300,000	126,851	③HP作成費217千円
次年度繰越金	5,964,271	5,054,271	5,059,816	
合計	7,393,108	7,604,271	7,595,532	

6. 監査報告

石川監事より、会計が適正に管理され、決算が適正であるとの報告がなされ、了承された。

7. 広報活動報告：江上副会長より報告された。

- ・ HP 用さくらネットのサーバー管理。
- ・ HP へ各々の活動紹介、連絡、Facebook 立ち上げの紹介。
- ・ HP から、異動届連絡の管理、名簿管理。
- ・ メーリングリストでの訃報、総会のご案内。
- ・ 新 HP への更新(トップページ、左)。
- ・ 旧アーカイブ情報の変換。
- ・ H27 総会ご案内でのご要望状況。
- ・ Access で管理した名簿データを pdf ファイル化し、電子メールで希望者(154+)に配信した。
- ・ 今年度は印刷物冊子で提供する最後の機会、希望者(110+)へ宅配した。
- ・ 費用が遺産報告：300 分の冊子のオンデマンド印刷、梱包・発送経費込、385,581 円。pdf ファイル化ソフト作製費用、270,000 円。

活動報告並びに決算報告、監査報告ともに賛成多数で承認された。

8. 平成 27 年度事業計画ならびに予算

安田副会長より、・5 月 23 日(当日)の総会、・9 月予定の見学会、・3 月開催予定の企業セミナー、・学科支援の強化、・支部活動支援、名簿データ更新作業の計画が提案された。

原副会長より、26 年度の予算が示され、了承された。予算は、収入に見合った支出で生まれ、会費収入の伸び悩みが懸念された。なお、H21 年度以来の会計収支の状況も説明された。

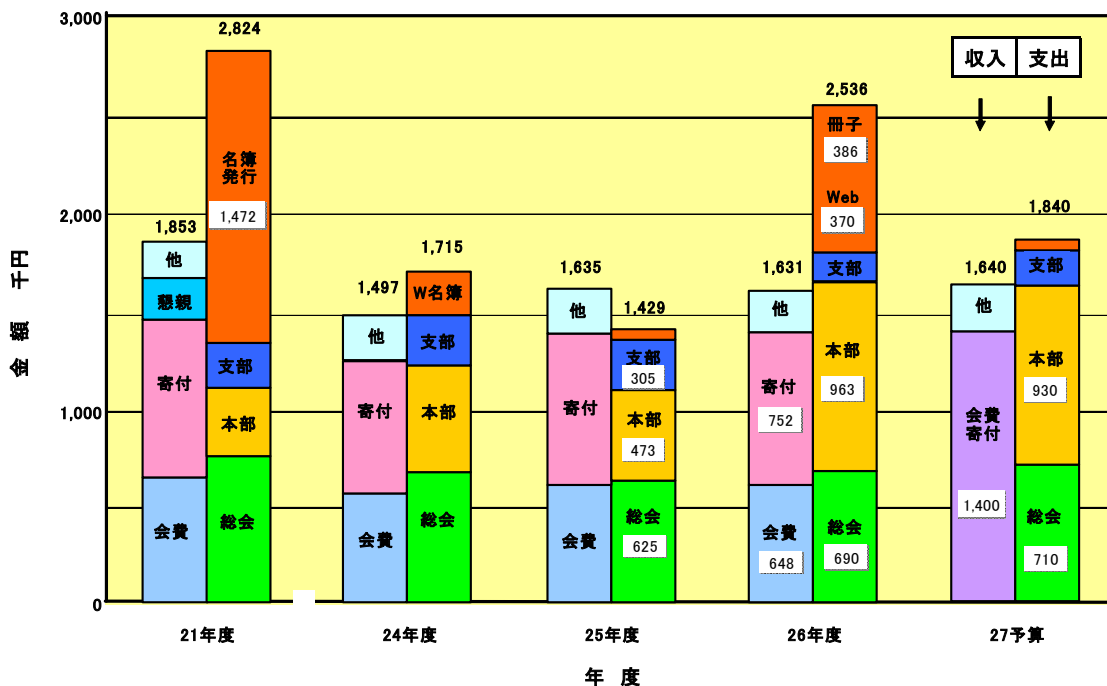
平成 27 年度事業計画ならびに予算は賛成多数で承認された。

平成27年度予算 概要

【単位 円】

項目	25年度	26決算	27予算	27年予算の注 支出 ①WEB名簿メンテ費として、50千円 名簿WEBシステム構築完了したので、今後の支出は抑えられる ②HP改良費として、100千円 ③学科関連支援費として、250千円 ③支部関連支援費として、150千円
収入	1,634,700	1,631,261	1,640,000	
年会費・寄付金	1,414,500	1,399,500	1,400,000	
セミナー賛助金他	220,200	231,761	240,000	
前年度繰越金	5,758,408	5,964,271	5,059,816	
合計	7,393,108	7,595,532	6,699,816	
支出	1,428,837	2,535,716	1,840,000	
総会関係費	624,628	690,229	710,000	
本部関係費	473,446	962,695	930,000	
支部関係費	304,996	126,851	150,000	
(小計)	(1,403,070)	(1,779,775)	(1,790,000)	
名簿関係費	25,767	755,941	50,000	
次年度繰越金	5,964,271	5,059,816	4,859,816	
合計	7,393,108	7,595,532	6,699,816	

会計収支の状況



9. 各支部報告

東海・北陸支部報告：蘇我支部長の報告：

東海・北陸支部会員：東海支部：177名、北陸支部：10名

支部総会および懇親会：平成26年11月7日(金)16:00～20:00、デンソー/Dースクエア(刈谷市)にて、本部から：金古同窓会長。講演：東京大学 渡部 俊也 教授、「日本の製造業の技術経営と知財戦略：グローバルな環境変化に対する処方箋」、参加者：31名 (ゲスト：2名、東海支部：28名、北陸支部：1名、(97名の方に支部総会の案内にレスポンスいただきました)、1956年卒 岡田芳之さん～2014年M修了吉田充宏さん

27年度支部長：1983年M修了 水野 賢一氏(日本特殊陶業)

関西支部報告：横川支部長の報告：

幹事 支部長 横川善之（大阪市立大学）、副支部長 岩崎光伸（近畿大学）、幹事長 久野木暁（住友電気工業）、坂本洋一（蔵前工業会大阪支部長）、長田光生（前支部長）

H26 年度の活動：関西では、蔵前工業会の支部活動が活発で、窯業同窓会の活動と重複することが多いため、今回は従来の工場見学・講演会と趣を変え、平野郷観光を行った。好評であった。

幹事会 2015年5月31日（土）

見学会 第四回窯業同窓会関西支部 懇親会

日時：2014年11月15日（土）15:00～

場所：平野郷散策 JR 関西本線 平野駅改札集合

内容：散策 15:00～17:00 中世の環濠集落 大阪観光コンベンション協会 モデルコース

懇親会：17:00～ 平野郷屋敷がんど 関西本線加美駅直ぐ

H27 年度の活動予定

幹事会、懇親会（案）：堺市立泉北すえむら資料館（須恵器収蔵日本最大、陶邑窯跡群）or 大阪市立東洋陶磁美術館 or 坐摩神社・陶器神社（摂津一宮）／旨魯（大阪の民家を改造した料理屋）、中央公会堂レストランを計画中。

中国・四国支部報告：三宅支部長の報告：

平成26年12月20日（土）に、ホテルグランヴィア岡山（岡山市）にて、三宅支部長他8名の参加による窯業同窓会 中国・四国支部総会を開催した。

窯業同窓会の現状、2015年のセラミックス協会年会の岡山大学開催への協力のお願ひ、および5月に行われた東京工業大学のホームカミングデイと窯業同窓会総会についての報告があった。支部総会では、箱守さんより中国赴任時のエピソードを御紹介頂いた。また、岡山理科大学の佐藤泰史先生の支部会入会、の紹介があった。

本年5月より、新先生が島根に赴任されたことも報告された。

東北・北海道支部報告：林支部代表幹事の報告：

支部長：中川 善兵衛（秋田大学名誉教授）、副支部長：相馬 隆雄（秋田県立大学） 幹事：（代表）林 滋生（秋田大学）、松嶋 雄太（山形大学）の陣容であるが、去年は支部総会は開催されなかった。

九州支部報告：今回は都合により欠席。

10. 卒業20年幹事報告

川口厚（H7卒）GEヘルスケア—ジャパンに努め早20年。その間の活躍の紹介と、2・3の同期の方々の紹介があった。

11. 役員人事：金古会長より、以下のような人事案が提案され、了承された。（太字：新任）

相談役：鈴木弘茂、山内尚隆、福長 脩、山岸千丈、木村脩七、金古次雄

顧問：赤尾洋二、各務芳樹、宇田川重和、宗宮重行、加藤誠軌

堀江鋭二、尾野幹也、猪俣吉三、石原幸正、錦織経治、尾島正男

会長：井関孝善

副会長：後藤誠史（総務）、原真一（会計）、安田榮一（企画）、江上浩二（広報）

水谷惟恭、岡田清、中島章（専攻長）、矢野哲司（学科長）

監事：石川演慶、中川順吉

関東支部長：川村隆宏、 東海・北陸支部長：水野賢一、 関西支部長：横川善之、

中国・四国支部長：三宅道博、九州支部長：大熊 勉 東北・北海道支部長：中川善兵衛

幹事：横川善之、秋葉徳二、清家捷二、相馬隆雄、尾花博、矢野豊彦、石黒隆（広報）、

端山潔、有代匡、渡辺俊也、鶴見敬章、舟窪浩、矢野哲司、榎本尚也、林滋生、細川佳史

事務局：福富路子

学生幹事

H17 矢沢亜希、中村明衣子

H18 石井智、滝沢佳世

H19 柿沼保夫、加茂崇支

H20 征矢大、米澤祐

H21 萩原学、清水麻衣

H22 立石貴志、猪木亮慶

H23 宮本拓実、和泉達也

H24 小林大斗、堆 仁美

H25 松澤一輝、山岡尚樹

H26 横山広大

H27 石川諒馬

12. 新会長挨拶：井関新会長より挨拶があった。

13. 閉会：後藤幹事の挨拶で閉会した。

(その後、西 8 号館前で参加者全員の集合写真を撮り、交流会へと向かった。)

文責：後藤誠史